



国指定重要文化財

臥龍山荘



Important Cultural Property
Garyu Sanso

肱川湖畔に佇む、
数寄屋造りの傑作

山々の間を縫って、
大洲盆地にたどり着く肱川。
その肱川湖畔で随一の景勝地は、
風の穏やかな日に、
新緑や紅葉を水鏡のように映す。
「臥龍洲」と名付けられた景勝地は、
大洲藩時代から殿様たちが愛でた景色だ。
その後、木蠟貿易で富を得た河内寅次郎は、
十年余りの歳月をかけて、
この地に臥龍山荘を築造した。
茶の湯文化を守るために作られた山荘は、
日本の美が宿る。
数寄屋建築の傑作となった。

